

2024年 浜松ケーブルテレビ放送番組審議会 議事録

開催日時	2024年2月26日(月)	開催場所	浜松ケーブルテレビ 3階 会議室
委員総数 7名			
・石川雅洋会長(浜松商工会議所)・久田五海副会長(浜松エフエム放送)・加藤智春(浜松市役所) ・安形智哉(湖西市役所)・林慎司(浜松青年会議所)・森口真紀子(はままつ子育てネットワークぴっぴ) ・道喜道恵(浜松男女共同参画推進協会)			
事務局 浜松ケーブルテレビ株式会社			
・柴田憲宣(代表取締役専務)・鈴木良則(コンテンツ部 部長) ・竹中健二(コンテンツ部 マネージャー)・柿山貴洋(コンテンツ部 リーダー)			
審議番組	「みんなの週刊!だもんDE浜松」 峠の国盗り綱引き合戦		
議題1 報告事項			
放送実績報告(2023年4月から2024年2月) レギュラー番組に関して放送実績を報告			
議題2 審議事項			
放送番組審議			
<input type="checkbox"/> 対象番組: 「みんなの週刊!だもんDE浜松」 峠の国盗り綱引き合戦			
<input type="checkbox"/> 放送期間: 2023年10月30日(月) ~ 11月5日(日) 毎日 9:00 / 13:00 / 18:30 / 20:30 / 22:30			
<input type="checkbox"/> コンセプト: 地域話題を特集形式で紹介し、視聴者に地域の魅力を伝える番組。 多くの人を映し出し、多様な取材先を取り上げることが重視されている。			
<input type="checkbox"/> 番組概要: 2023年10月30日放送の「峠の国盗り綱引き合戦」では、4年ぶりに開催された 浜松市と長野県の“県境”を懸けた綱引きイベントをレポート。 参加者や観戦者の声を交え、臨場感ある映像で地域の盛り上がりを伝えた。			

放送番組審議内容

- 委員 > 番組「峠の国盗り綱引き合戦」のYouTube再生回数は744回。一方、学校関連の動画は4,000~5,000回と視聴回数が多い。YouTubeの再生回数が視聴者数増加の指標となるが、視聴回数を意識した番組制作を行っているか。
- ウィンディ > 学校や祭り関連の番組は視聴回数が伸びる傾向があり、優先的に特集として放送している。多くの団体や人を映し出し、YouTube配信を通じてウィンディの認知度向上を目指している。
- 委員 > 浜松市や商工会議所では人口減少対策が課題で、特に20歳以上の女性の流出が顕著。企業紹介や学校紹介の番組を制作し、浜松の魅力を伝えることでUターンを促進できるのではないか。婚活関連の取材や広告も人口減少対策に有効。行政や商工会議所と連携した番組制作を提案したい。また、外国人向けにポルトガル語など多言語対応の番組や、イベント情報を伝える広報番組の制作も検討すべき。
- 委員 > 国籍ごとに使用するSNSが異なる。例えば、ブラジル国籍の方はFacebook、中国の方はWeChat、ベトナムの方は別のプラットフォームを使用している。外国人向け番組制作の際は、SNSの特性を考慮すべき。
- 委員 > 綱引き合戦の映像は臨場感を伝えていたが、参加者の声は上手く拾えていたものの、山の中の撮影で顔が暗く映る場面があった。照明の使用や日の当たる場所での撮影を検討すべき。
- 委員 > 綱引きは誰もが経験したことのあるスポーツで、プロスポーツのような感動と市民の共感を両立させた温かみのある内容だった。参加者の声そのまま伝わり、年齢を問わず楽しめる番組だった。
- 委員 > 市長や選手、観戦者の声を丁寧に拾っていたが、YouTube再生回数が伸び悩んでいる。行政でも同様に再生回数が3桁にとどまり、議会から情報発信の効果を問われている。学校や祭りのコンテンツが再生回数を伸ばす点は行政の番組制作のヒントになる。良い番組でも視聴回数に結びつかないのは共通の課題。
- 委員 > YouTubeでは出演者の岡本さんが練習会を取材しており、本番だけでなく1ヶ月前の練習風景を挿入するとさらに良くなる。YouTubeのコメントに丁寧に回答している点は好感が持てる。コメント対応は根気が必要だが、ウィンディの丁寧な対応は応援したい。
- 委員 > 長野県に3mの陣地を取られた経緯や、今後遠州軍がどう取り返すかの経過を伝えると面白い。取材内容をSNSで計画的に発信し、露出を増やすことでYouTubeの視聴回数を伸ばせるのではないか。番組は盛り上がりや経過を楽しく伝えていた。
- 委員 > 多くの人が映り、臨場感が伝わった。勝った時の歓声や選手の足元の砂地の音、表情や綱の動きをさらに強調すると良い。関係者が「感動した」とコメントしており、勝利や終了の瞬間をより詳細に撮影してほしい。

委員 > 出場者に知り合いがいた。水窪の写真屋や観光協会のメンバーも参加していたが、地元の人であることをもう少し丁寧に紹介すると視聴者にとって親しみが増す。出場選手の紹介を充実させてほしい。

ウィンディ > 頂いた意見を参考に、今後の番組制作に取り組んでいく。

審議終了